

# 白馬

はくば

# 議会だより

# 141号

標高 1860m 築約 60 年の八方池山荘  
世界に誇れる資源となる建替え計画づくりに期待！



八方池山荘の写真 左回りに、赤い屋根が山荘で奥の茶色い建物がリフト駅舎、正面入口、食堂テラス、山荘北側より白馬三山を望む

## ■ 村政を問う 一般質問 ..... 4p

- ・ 村民への事業内容の説明が不十分だ ..... 5p
- ・ 防災情報配信アプリのダウンロード数は ..... 6p
- ・ 障がい者グループホーム設立の進捗状況は ..... 7p
- ・ 過去反省で候補地選定に誤りは無かったか ..... 8p
- ・ この20年間に気温はどれだけ上がったか ..... 9p
- ・ 住民の防災力を向上するための考えは ..... 10p
- ・ 脱炭素先行地域への応募は ..... 11p
- ・ 下川村長が、次期政権に託したことは ..... 12p

## ■ 常任委員会審議

- 再始動した図書館計画に期待! ..... 2p
- 内山地区の水源林間伐整備調査始まる ..... 2p

## ■ 委員会報告 ..... 13p

## ■ 夢・私たちに。「わたしのひとこと」 ..... 14p

# 再始動した図書館計画に期待！

## 総務社会委員会

●議案第26号 白馬村税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律に伴う村税条例等の一部改正。固定資産税では、DV被害者等の登記簿上の住所が記載の場合は、当該住所に代わる事項を記載できることなど。

**問** DVだけでなく外国居住者に関することもあり、本村にとつては重要と考へてのことか。

**答** 国の方針。DV被害者の住所が誰でも取得できる書類から判明することからの改正。

●議案第27号 令和4年度白馬村一般会計補正予算(第2号)

予算総額に歳入歳出それぞれ7473万4千円を追加し、6億191万9千円とするもの。

## 健康福祉課

小規模多機能型居宅介護を新田地区に開設する補助金。財源は全額県補助金。事業者は特定非営利活動法人白馬の風。総事業費6600万円。

**問** 宿泊6名で白馬・小谷の分は足りるのか。

**答** 介護関係では、白馬・小谷は足りていないと思う。随時広域連合と共に進めていく。

## 子育て支援課

生活支援特別給付金1200万円は、低所得子育て世帯、児童手当受給者等に、一人一律5万円を支給。全額国からの交付金。

## 生涯学習スポーツ課

図書館事業の増額は官民連携調査委託料1300万円、全額国補助金を活用し公募型プロポーザルで参加事業者を募集。本年度末までに見直し版基本計画を策定。不動産鑑定委託料237千円は、候補地周辺

の不動産鑑定料。

**問** 子育て支援ルームを候補地として検討を進めると理解してよいか。  
**答** その考へで鑑定委託料を計上する。

●陳情第3号 「無実である国民が、犯罪者とされ処罰されている」現実を「命と人権、人間の尊厳にふさわしい法律」にするための、「再審法改正を求める意見書」の議会書議決をお願いする陳情

陳情書提出者より趣旨説明を受け質疑応答を行った。委員全員の賛成により採択。

総務社会委員会採決結果

議案	採決	
議案第26号	可決	全員
議案第27号	可決	全員
陳情第3号	採択	全員

# 内山地区の水源地林間伐整備調査始まる

## 産業経済委員会

●議案第27号 令和4年度白馬村一般会計補正予算(第2号)

## 農政課

森林経営管理制度推進事業として森林調査設計委託料に352万円を増額。内山地区からの依頼により、次年度に間伐実施を行うための調査設計委託料。

**問** 内山地区の水源地の水が濁ったり、涸れたりした場合、村は補償として水道の供給をしていく用意はあるか。

**答** 住民へ十分な説明を図りながら慎重に進めていく。

●陳情第2号 水田活用の直接支払交付金の見直しに関する陳情

農林水産省の水田活用直接支払交付金の見直しで示された、令和4年度から5年間に水稲を作らない水田は交付金の対象から除外する方針は、転作に協力してきた農家や担い手は交付対象外となり、経営困難や耕作放棄地が増加など懸念され、国に反対の意見書提出を求めるもの。

産業経済委員会採決結果

議案	採決	
議案第27号	可決	全員
陳情第2号	採択	全員

承認第7号 令和3年度 白馬村一般会計補正予算(11号)専決処分報告

質疑 加藤亮輔

問 コロナ支援策の非課税世帯臨時給付金1260万円、灯油等給付金456万円、臨時特別給付金340万円の減額補正、この3事業の当初利用予定人数・世帯数と実際の支給人数は。

答 非課税世帯臨時給付金は一世帯10万円、当初1050世帯。支給は924世帯。灯油等給付金は一世帯当たり1万円で当初3961世帯。支給は3550世帯。臨時特別給付金事業は当初1151人。実際は1117名。

問 支給人数の減少理由は？

答 住民記録上の差異や非課税世帯の概数算定の差異が生じたことが主な要因。灯油等給付金世帯数減少は、基準日時点の住民基本台帳の登録者数との差異と、所得税法上の扶養親族のみからなる世帯を控除給付対象外としたことが要因。

問 義務教育施設整備基金積立金8000万円計上した目的と今後も同程度程度の積み立てを継続するのか。

答 特定目的の基金の中では最優先で積んでいきたい。

議案第27号 令和4年度 白馬村一般会計補正予算(第2号)

質疑 津滝俊幸

問 図書館等複合施設官民連携調査委託料は何を調査しどのように利用していくか。

答 事業費が約10億円以上となる場合は、官民連携手法を優先的に検討することとなっている。子育て支援ルームの西側の農地の不動産鑑定を行う。

問 前回使った基本構想約480万円、基本計画約

600万円、合計1000万円は今後どのように生かすのか。

答 場所の見直しを行うと共にその機能の見直しを行うに際し、前計画も活用して行く。

問 喫緊の課題として、図書館よりも老朽化した子育て支援ルームを早期に建て直しては、複合化することにより、財政的なメリットと多目的な交流や居場所づくりなどのメリットがあると考えている。

答 複合化することにより、財政的なメリットと多目的な交流や居場所づくりなどのメリットがあると考えている。

令和4年第2回臨時会 議決結果(令和4年4月19日開催)

件名	議決結果
令和4年度白馬村一般会計補正予算(第1号)	可決

6月定例会 議決結果

件名	議決結果	
令和3年度白馬村一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告	
白馬村税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	承認	
白馬村都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について		
白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について		
白馬村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の専決処分報告について		
白馬村特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分報告について		
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分報告について		
令和3年度白馬村一般会計補正予算(第11号)の専決処分報告について		
令和3年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第4号)の専決処分報告について		
令和3年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)の専決処分報告について		
令和3年度白馬村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分報告について		
令和3年度白馬村水道事業会計補正予算(第3号)の専決処分報告について		
令和3年度白馬村下水道事業会計補正予算(第3号)の専決処分報告について		
白馬村税条例等の一部を改正する条例について		可決
令和4年度白馬村一般会計補正予算(第2号)		賛成：全員
発委		
白馬村議会基本条例の一部を改正する条例について	可決 反対：加藤亮輔	
えん罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める意見書	可決 賛成：全員	
水田活用の直接支払交付金の見直しについて白紙化を求める意見書	可決 賛成：全員	

令和3年度議長交際費一覧

支出日	支出内容	金額
10月11日	長野県建設部長、県議とのミーティング 会費	5,000
2月9日	告別式 香典	10,000

# 一般質問

## 安全で活力ある 村づくりをめざして 村政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

白馬村は1問1答方式で、1人60分の制限時間内であれば、質問回数に制限はありません。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。

本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます。

### 質問内容

- ・ 村民への事業内容の説明が不十分だ…………… 5
- ・ 防災情報配信アプリのダウンロード数は…………… 6
- ・ 障がい者グループホーム設立の進捗状況は…………… 7
- ・ 過去反省で候補地選定に誤りは無かったか…………… 8
- ・ この20年間に気温はどれだけ上がったか…………… 9
- ・ 住民の防災力を向上するための考えは…………… 10
- ・ 脱炭素先行地域への応募は…………… 11
- ・ 下川村長が、次期政権に託したことは…………… 12

### フォトニュース



2年ぶりに白馬村消防団ポンプ操法大会が、快晴の中6月5日に行われた。



加藤 亮輔 議員

# 問 村民への事業内容の説明が不十分だ

## 答 2つの資料を作成、クリアできている

**問** 〔村は広報活動の拡充を〕  
昨年、策定した行政計画の内容を、村民へどの様に広報しているか。

**答** 策定した7件全てホームページに掲載。

広報はくぼの掲載はゼロカーボンビジョンの基本計画、食育推進計画等4件。掲載の内容・手法は担当課の判断。

**問** ゼロカーボンビジョン計画について広報はくぼ3月号から記載。読みましたが、中身が濃く、字句についても分からなく十分理解できなかった。村民の方も理解できたか疑問。掲載すれば、それで広報したことはないかと考える。説明責任を果たすためにも、説明会を開く考えはないか。

**答** 行政はこれで満足とは思っていない。白馬村ゼロカーボンブック等の冊子を使って認識が広がっていくことが大事、これからも取組みを進める。

**問** 今年度の一般会計予算58億7600万円  
で実施する。事業総数は何件か。

**答** 169事業。

**問** 事業総数は169事業ですが、広報はくぼ

には10事業、「ざっくりさん」には65事業しか説明されていない。これで説明責任を果たしたとの考えか。

**答** 広報はくぼは紙面が限られている。「ざっくりさん」は新規または拡充する事業を載せている。ある程度はクリアできていると考えている。

**問** すべての事業内容が記載されている分かりやすい予算説明書作りは、多くの自治体を取り組んでいる。最初に作ったのは二セコ町で全世帯に配布。2013年と2015年の2回、配布について一般質問したが、実現されず、「ざっくりさん」の拡充も進んでいないか。

**答** 村民生活に必要な部分をチョイスして、わかりやすく見せているつもり。道路工事路線の具体的なものを出す等は検討の余地はあると思うが、十数年前の予算の説明書に比べれば、格段に進歩している。

**問** 水道の給水除外地域に何世帯が居住か

**答** 水道以外の利用者は39世帯84名

【水道の敷設除外区域】

**問** 水の供給は自治体の責務であると考え。しかし村の一部の地域では50数年来、水道の給水区域から除外されているがその理由は。

**答** 村の上水道事業管理延長は約200キロ。理由は、拡張よりも老朽化して行く管路の維持更新に重点を置かなければ、水道事業が成り立たなくなる。

**問** 堀田地域の話では、湧水池まで約300m位、秋から冬にかけて水



水道はいのちの源 安心して利用できる体制を

が細くなり、風呂を毎日に入れれない。入る場合は一日中、蛇口を開けておく。浴槽の下に泥がたまる状況。担当課として、堀田の現状をどの様に把握しているか。

**答** 堀田のみならず、東山は水量が減っていることは確認している。

**問** 調査をするか。

**答** 現地に行つてどういふ方法が良いか相談したい。

# 防災情報配信アプリの ダウンロード数は

## 7年度目標1万件に対し、 現在1689件



丸山 勇太郎 議員

【防災情報配信システム  
の運用】

**問** 2億8千万円を投じた防災情報配信システムは、本格運用から2年目を迎えるが、屋外スピーカー数が少ないこと、全戸配布を目指したスマホへの防災アプリ導入も数が少なく、システムが十分に生かされず根本的な不備もある。屋外スピーカーが設置されなかった地区数、宅内機の最新の普及率、防災アプリのダウンロード数は。

**答** 複数の媒体を使うのが当時の方針。東日本大震災以降、国の方

**答** 音が伝わる地区もあるが、13行政区には設置しなかった。宅内機普及率は81.3%。防災メール登録者283件。アプリダウンロード数は、総合計画での令和7年度達成目標1万件に対し、現在1689件。

**問** 屋外スピーカーの付いていない所はやっぱり聞こえていない。総務省調査のモバイル端末普及率83%を人口にかけて割り返すと、アプリ普及率はいまだ20%台。これではだめだ。スピーカー未設置地区で日中屋外のケイタイ・スマホを持たない老人・子供アプリの入っていない観光客に危険情報を知らせる手段は。

針が戸別受信機に変わった。スマホの普及率も高まった。

**問** 答えになっていない。日中屋外のスマホ持たない人には届ける方法はない！が答え。普及率も30%に満たないでは役割を果たさない。付いている地区や家庭では、逆に「うるさい」という副作用もある。寝ている赤ちゃんを起こすことも。合成音声の強制一斉放送にしろくいい同報情報もあるのでは。

**答** 複数手段が必要という点で、30%に満たないことは受け止め普及に向けて努める。霜注意報などは強制一斉緊急情報に当たらないのではとのこと、ご意見として承る。

**問** 近隣自治体で屋外スピーカーを省いているところはない。仕様書の段階で問題があったと思っ

きだったのでは。その中で宅内機やスマホ配信などを欲張った結果、屋外スピーカーの数を削らざるを得なかったのでは。

**答** 価格が最初にありきではない。仕様書は専門家にも入っていた。全世帯配布を目指した宅内機がそれなりに高かった。屋外スピーカーは指定避難所近くの平場設置が基本方針だった。

**問** 宅内機へのお知らせ内容を、むしろアプリやメールに文字で出せば1回で済むし、スマホ普及で既にそのほうが慣れている。観光客にも入られていただき、防災に加え観光案内にも使ってほしい。音達外エリアの日中屋外でスマホを持たない者や、アプリが入っていない観光客は情報難民になる。防災は社会的コスト。



屋外スピーカーも、防災アプリ普及率も足りていない。大事が起きる前に再度の取り組みを願う。

決してケチってはいけな部分では。

**答** 観光客にお勧めする取り組みはしていい。普及率を高めることに、しつかり取り組む。アプリ系で改善の余地があれば前向きに考える。



田中 麻乃 議員

# 問 障がい者グループホーム 設立の進捗状況は

## 答 小谷村と協力し 整備に向け進めている

【障がい者福祉の充実】

**問** 福祉事業所における新型コロナウイルスの影響は。

**答** 衛生資材の購入をはじめとしたかかり増しの経費の発生に加え、報

酬面では感染を懸念しての利用控えや、就労系サービスと言われる就労移行支援、就労継続支援等では、受注作業の減少が減収につながるなど、大きな影響があったものの、国との各種支援もあって、その影響は最小限にとどまったものと考えている。

**問** 未就学児の療育支援の課題は。

**答** 児童には様々な特徴、特性があり、児童との関わり方や、職員が感じていることと保育者が感じていることが、必ずしも一致をしないこと。幅広い支援をするには、保護者の理解と協力が必要。引き続き情報交換等を密にし、幅広い支援ができるよう努める。

**問** 早期療育支援につなげる支援体制は。

**答** 相談センターの中で、保健師2人、保育士2人、専門の相談員を置いている。2歳児健診で成長の度合いを見て、次の健診や相談業務、それから遊びの教室等を通じて保健師と保

育士、また専門の相談員と合わせてやっていく。あと特に支援が必要な子どもには、理学療養士と個別相談を設定し、支援をしている。

**問** 支援からどうしても離脱するケースはあるか。

**答** 距離を置きたいという話はあった。その場合は、担当者を変えるなど支援に入っている。

**問** 放課後等デイサービスの課題は。

**答** 小谷村にある療育センター「そらいろ」への通所が主。利用する児童は年々増加傾向にあり、毎日定員いっぱいに近い状態が続いている。村内にも1か所事業所があるのが理想だが現実的には難しい。

**問** 庁内の障がい者雇用の実績は。

**答** 目標の2.6%に対し、令和3年6月1日の基準では1.68%。法定雇用障がい者数を達成には、現状に加え、さらに1名の障がい者

の雇用が必要な状況。

**問** 障がい者雇用において、村の企業に対する啓発や支援体制は。

**答** 大北障がい者就労支援センターと連携しながら今後力を入れてやっていきたい。

**問** 平成30年の計画策定時に、障がい者手帳所持者を対象にアンケート調査を実施した。そのときの課題をどう受け止め取り組んできたか、これまでの進捗状況は。

**答** 現在の状況は、本村でのグループホームの開設を希望する事業者より、県に社会福祉施設等整備事業を活用した施設整備計画を毎年提出している。採択をされずに大きな進展はないが、引き続き積極的に支援をしていく。



みそら野にある就労継続支援B型事業所のクロスロード白馬。安心して地域で暮らせるよう、グループホームの早期設立を願う。

**答** 村外の事業所へ通所したいが、交通費がかさんでしまうことから補助制度をつくってほしいとの声を受け、村独自の補助制度を創設した。

**問** グループホームの設立の進捗状況は。

**答** 現在の状況は、本村でのグループホームの開設を希望する事業者より、県に社会福祉施設等整備事業を活用した施設整備計画を毎年提出している。採択をされずに大きな進展はないが、引き続き積極的に支援をしていく。

# 過去反省で候補地選定に誤りは無かったか

## 答

策定のプロセスが不透明且つ民意を反映せず



太谷 修助 議員

## 問

【図書館等複合施設建設計画の進捗状況と過去の検証について】

## 問

今年に入り2回の検討委員会が行われているがどのような状況か。

## 答

中高生を含む多様な方々に就任を依頼。居場所や交流といった複合施設の役割に主眼を置きどの様な過ごし方、どのような場所なら実現できるか、多くの人が施設の運営に関わるためにはどんな仕掛けが必要かを話し合っている。

## 問

前回と大きく異なる点は何か。

## 答

1点目は複合施設の機能や規模についても一部変更になるが、現時点では検討中なのでもう少し待つてもらいたい。2点目は官民連携に関する調査を行い基本計画に反映させる点。複合化や集約化を伴う施設整備について、10億円以上になる場合は、白馬村PPP/PFI<sup>注</sup>手法導入優先的検討ガイドラインにより、官民連携手法を優先的に検討することとなっている。調査費用の全額が、国庫補助となる国土交通省の先導的官民連携支援事業を活用し、専門的調査を実施する。

## 問

過去の反省点は何か。

## 答

住民主体の検討委員会を設け、だれでも参加できる説明会・意見交換会を開催するなど検討経過を公開して民意を確認しながら進めたい。

## 問

これまでで要した費用はいくらか。

## 答

基本構想策定に約480万円、基本計画策定に約600万円を委託費として支出しているが、住民ニーズの把握や事例調査、有識者会議やワークショップの運営、コンセプトの考案や機能の検討など複数の候補地を前提として情報を整理したもので、駅建設計画に要した費用ではない。

## 問

コンセプトや規模の変更は考えていないか。

## 答

施設コンセプトは、白馬村の基本理念である「白馬の豊かさとは何か・多様であることから交流し学び合い成長する村」を具現化する施設と位置付けているので、変更する考えはない。規模については、附帯

的機能と併せて変更はあり得る。長年にわたり検討してきた計画なので、しっかりと検討して白馬村を象徴するような施設にしたい。

注：PPP/PFI<sup>注</sup>「官民連携」「公民連携」により、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法

## 本格的な独自ルートの議論を始めるべきでは

## 問

## 答

村の決定が町市・小谷の極大ルート見

## 問

【松糸道路の白馬ルートについて】

## 問

南部(安曇野市)から決まってきたているが、北部から優先すべきでは。

## 答

あくまでも、起点側が定まらなないと全体計画が成り立たなくなるという

## 問

今後、村としてはどのような対応をしていく考えか。

## 答

長野県とも協力しながら、村内ルート帯評価ができるよう準備を進めたい。重要なことは村民の皆様への情報提供であり、想定される様々な課題を共有しルート決定の作業を図りたいと考えている。



新たな候補地として選定されることを願う。行政からの誠意を示し、協力頂くのが新しい白馬の出発にふさわしい。





尾川 耕一 議員

# 問 この20年間に気温はどれだけ上がったか

## 答 白馬では過去20年で1.64度上昇

【ゼロ・カーボンの政策には。ピンチをチャンスに】  
**問** 「炭素予算(カーボンバジェット)」という言葉を知っていますか。

**答** 詳細に理解していませんが、地球温暖化による気温上昇をある一定の数値に抑えようとした場合、その数値に達するまでに、あとのくらいCO<sub>2</sub>を排出してよいかという上限を表す言葉。

**問** 村長がご家庭で行っている対策は。

**答** 無駄な電気は極力減らす。生ごみ処理をコンポストで行っている。買物袋の持参。車はなるべく燃料を使わないような車種に替えた。

**問** 他の職員の対応は。

**答** 4月の課長会議で、職員一人一人が何か一つ取り組むように伝えた。例えば、距離によっては自転車や徒歩で通勤など。全職員に浸透していくことを願っている。

**問** 「気候非常事態宣言」のきっかけとなった

白馬高校生たちが行った「グローバル気候マーチ」。何故、彼らはそれを行ったか「想像」できますか。

**答** ウィンゲ21で、当時アメリカのユタ市のパークシティの観光協会長が来て、温暖化についての講演をいただいた。長野県知事の阿部知事も参画して議論した。そこに高校生も参画していて、一緒になってこの気候変動に取り組んでいかなければいけないということが発端。

**問** 村内の各団体や組織と協働で啓発活動を行なわないか。

**答** ハンドブックによる啓発活動に努めている。引き続き村内の機運の醸成と取組を実践する、事業者や団体との連携を図りつつ、一歩ずつビジョンの実現に努めていこうと考えている。

**問** 村内のいろいろ経歴を持った人たちが、ゼロカーボンに向けての推進委員に取り込む考えはないか。

**答** 意見交換はしていきたい。それぞれ得意なジャンルがあるので特化してやるのか、全体の

ものをやるのか、検討はしたいと思う。

**問** 環境省の「脱炭素先進地づくり」申請や、その後の対応を見越して庁内横断的・村内などの外部有識者を交えたチームをつくる考えはないか。

**答** 現時点において、ゼロカーボンビジョンの推進に特化した新たな庁内の部門やチームを設置する考えはない。

**問** 気候変動を考え実行する素地・下地づくりをはじめる考えは。

**答** 副村長 要は意識付けだと思っている。職員は今ままであまり意識をせずに予算立てしていたり、施策を選択していた。これからは気候温暖化対策、SDGs等々が常に念頭にありながら業務を進めていくということから、まず進めていきたいと考えている。

【渋谷区後援】若者たちが1000万円集め  
渋谷ハチ公前に気候変動のカウントダウン  
をするClimate Clockを設置!



1.5度上昇をに留めるには  
今のままでなら  
残り **7** 年強しかない。



【出典】 PR TIMES  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000006.000078992.html>

若者が何故? 気候危機問題に取り組むか? 彼ら彼女らの「気持ち」を  
しっかり想像してみてください。  
大人も「自分事」として受け止め、行動を始めよう!

# 問 住民の防災力を向上する ための考えは

## 答 更なる地域防災力の向上が 必要と感じる



増井 春美 議員

# 【防災・減災への対応】

## 問 白馬村防災マップを どのように活用され ているか。

## 答

各自防災組織や各  
区で実施される避難  
訓練で、防災マップ上で住  
居から避難場所までの安全  
確保できる経路を確認して  
もらい、安全な避難経路と、  
身近な危険を認識いただき、  
災害初期に  
は自分の身  
は自分で守  
る意識付け  
等を図って  
いる。



くとも年1回は見直しをし  
ていただくようお願いして  
いる。更新状況についての  
詳細は把握してない。研修  
会の招集範囲は、毎年各地  
区の区長、地区の役員、地区  
を担当する民生児童委員に  
参加していただいている。

本年度については、未作成  
地区を対象にして、4地区  
の区長さんにお声がけをし  
て開催する計画でいる。

## 問 白馬村避難支援プラ ンを村民に理解して もらうため、共助の意識付 けする方法は。

## 答

健康福祉課では、災害  
時要行動支援者台帳  
を毎年更新して、支援の必  
要な方を把握している。災  
害時支え合いマップづくり  
については、各地区の方が  
集まっていたら、話し合  
いをする中で困っている  
人を共有していただいでい  
る。

## 問 指定避難所の耐震診 断状況は。

## 答

村内14箇所の指定避  
難所のうち、昭和56年  
以前に建築された避難所は

1か所あるが、地元住民か  
らの要望で避難所を変更し  
た。その他の避難所におい  
て耐震基準を満たしている  
ものと考えている。

## 問 災害時の観光客の避 難誘導は。

## 答

白馬村観光防災マ  
ニュアルに定めてい  
る。発災直後の初期対応は  
各観光エリア中心での対応。  
状況に応じて施設やエリア  
が指定緊急避難所へ観光客  
を誘導する。

## 問 災害時、行政と区の伝 達情報における課題 は。

## 答

雨・風の大きな  
音等で、防災行  
政無線の屋外スピー  
カーによる避難勧告  
がうまく伝わらなかつ  
たという事例は全国  
的に発生している。

## 問 行政の災害備 蓄資材と指定 避難所の備蓄を把握 しているか。

## 答

それぞれ期限  
が切れたもの  
より使い補充をして

いる。各地区指定避難所の  
備蓄は、地区で管理してい  
るので把握していない。

## 問 ハザードマップは、提 供する情報が細かす ぎて住民が必ずしも理解で きないのでは。

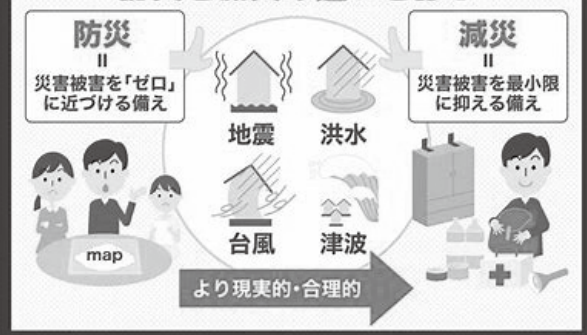
## 答

分かりにくいとい  
うことであればお聞か  
せいただきたい。わかりや  
すく説明する。

## 要望

防災力を向上するた  
めには、人材育成がキーポ  
イントだと思う。自主防災  
組織で防災士の育成を進め  
てもらいたい。

### 防災と減災の違いとは？



行政の責務は、村民に「いかに知らしめるか」  
村民は、災害に備え「いかに知る努力をするか」



加藤 ソフィー 議員

# 問 脱炭素先行地域への 応募は

## 答 庁内検討を進めている

〔ゼロカーボンビジョン〕  
**問** 前回の一般質問で、この計画の優先順位はこれからつけていくとの答弁だったが、進捗状況は。

**答** スピード化がはかれるものに関しては優先順位が高くなるという考え。現在見極めている。

**問** いつまでに、何を見極めるのか。

**答** 重点施策の中で、再生可能エネルギーと森林保全は、長期的に取り組むものなので、スピード化は難しい。省エネに関しては、国や県の補助制度が見えてきたので、スモールスタートとして可能なものを探す。来年度の予算編成を11月ごろから着手するので、その前までにはと考えている。

**問** 観光局もサーキュラーエコノミーによる地域活性化の取り組みを実施し、村と同じような方向に向いている。もっと協力体制を築いた方がいいのでは。

**答** 村民に対する周知という面で足並みを揃えたい。

**問** 脱炭素先行地域への応募へ向けて取り組んでいることは。

**答** 方向性、エリアの範囲及び計画を協働して推進をするステークホルダーの存在等について、庁内検討を進めている。

**問** 前回の一般質問の答弁では次を狙うとのことだったが、いつ頃次の募集が開始されると見ているのか。

**答** 時期ありきで進めていくと、地域の反発が出る可能性がある。プロセスはしっかりと踏みながらある程度目処を立てていく。

**問** 専門的な知識が必要になると思うが、どの

ような体制で応募に向けて動いていくのか。

**答** 現段階では再エネ協会の情報提供を頂いている。深掘りした作業が必要となった場合に、どのような形で作業をするかは検討する。

**問** 外す場面での積極的な声かけは

**答** 場面による対応を先生を通して伝えていく

【子どものマスク着用】  
**問** 本村の学校等での対応は。

**答** 状況に応じた対応に努めているが、基本的な感染防止対策として重要。

**問** マスク着用が続くとによる子どもへの身体健康や成長への影響は。

**答** 熱中症のリスクや健康面、発達への支障が

起こるなど様々な意見は承知しているが、感染予防対策のためのマスクは外せない。

**問** 登下校時など外しても良い場面では積極的に外すようにと声をかける必要があるのでは。

**答** 特に低学年では、先生がこのような時は外すんですよと指導している。ただ、外したくない子どももいるというのは理解が必要である。

**問** 着用をしなければならぬ場面を外した子どももいるように、どちらも尊重しなければならぬが、マスクをつけ始めた時と同じように、外して良い場面では外しましょうということも、大人の責務だと思いませんか。

**答** 場面による対応をしっかりと先生を通して伝えていく形が一番。コロナ禍がどこまで長期的なものになるのか不明だが、これも一つの経験ではないかと思う。



5月 大雪溪への道のり  
この光景が幻とならないように今、行動するときです

# 問 下川村長が、次期政権に託したことは

## 観光振興のための財源確保



津滝 俊幸 議員

**問** 原野、山林、雑種地の管理は。

**答** 総務課が担当。財産の維持・保存を図るため登記簿や公図、航空写真を活用し、現地調査も含め総合的に管理している。

**問** 村では地価の高騰により、移住者や新規に家を建てる者に見合う価格の土地が無い。村有地の有効に活用しては。

**答** 近隣市町への提出傾向は承知している。指摘のとおり村有地の活用方法を指示した。宅地に利用できる土地を台帳で絞り込み、6月中に現地確認し、造

**問** 【村有地および村有施設の管理体制について】村名義の土地の移転登記はされているか。

**答** スノーハープの一部に未登記の不備あり。所有権移転の未登記は何筆か。

**問** 約38ヘクタールの内、約8%、筆数にして100筆が未登記。

**問** その他施設で管理者が曖昧、その管理は。

**答** 地方自治法で公共用財産と区分され、行政財産として用途によって各課により管理している。



パンフレットから消えたクロスカントリー Bコース

成等整備費用を算出し7月中に判断したい。

**問** スノーハープのBコースが管理出来ない。対応は。

**答** 投資額に見合った収入が無く維持管理が大きな課題。不要な経費を削減し、村民からの協力を得ながらエリアを整備したい。一部コースを利用する部分と自然に還元していく部分を含め、クロスカントリー競技場一帯を総合的に整備していく。

**問** 荒廃農地に見える奈良井地区に管理体制は。

**答** 地目は農地から雑種に変更、農振除外されている。草刈りの管理を外部に委託。活用方法については未定。

## 行政デジタル化推進の要は マイナンバーカードの普及促進

**問** 【行政のDX<sup>注</sup>の推進について】

**問** DX化を推進するにあたり、全体の方針決定など自治体DX推進計画を策定してはどうか。

**答** 総務省より自治体DX推進手順概要が示されている。この手順書を参考に県のDX戦略と歩調あわせ、システムの共通化や行政手続のオンライン

化、セキュリティレベルの向上に努める。

**問** デジタルデバイド(情報格差)対策は。

**答** 国は、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化に向けて、高齢者のオンラインによる行政手続きや民間サービスの利用方法の説明会・相談会の実施。地域住民に対する相談に対応した財政措置を講じていく予定。

**問** ペーパーレス、リモート会議、リモートワークの推進の考えは。

**答** 庁内のテレワーク環境は整っている。ICTを活用した働き方改革への積極的な取組と環境整備を進め、更なる推進をしていく。ペーパーレス化は議会との共有のみでは費用対効果が少ないと考える。通常業務での活用を模索。

注 DX II デジタル・トランスフォーメーション デジタル技術を活用して今までにはない価値を社会に提供していくこと

## 総務社会委員会

## 民生児童委員との懇談会を開催しました

コロナも落ち着きを見せ始め、ようやく民生児童委員の方々と懇談会を開催することができました。委員の皆様には、住民の立場から生活や福祉全般に関する相談に応じ、地域の支え合いと行政をつなぐ役割や妊娠中の心配ごとや子育ての不安に関する様々な相談や支援を担い、誰もが住みよい村にしていくお手伝いをいただいています。総勢21名の皆様の日頃の活動には頭が下がる思いです。

「交通弱者が病院に行くため駅を利用するが、階段の上り下りが大変だ。」「除雪の影響か横断歩道

の白線が薄れて分からない。歩道の除雪の遅れや雪落とし用の側溝が不安。子どもたちの通学が心配。」「子どもたちのためのボランティア活動の消耗品や講師交通費等を自分たちで賄っている。必要経費を予算化できないか。」などの意見が出ました。

これらは日々の活動の中でリアルに、そして切実に感じた思いだと受け止めました。委員会として村行政だけでなく広域やJR等へも、積極的に提言していきたいと思います。忌憚のないご意見ありがとうございます。

## 産業経済委員会

## 独自勉強会や現場視察を積極的に開催しています

観光牽引組織についての研修として、(株)地域経営プラチナ研究所代表 平尾勇氏を招き勉強会を開催。平尾氏は白馬村観光局の立ち上げに関わった方であり、設立当初の目的や方向性・理念から、今後の観光組織のあり方について学びました。今後9月末をめどに観光組織のあり方についてまとめていきます。

農政関係では、本年よりスタートした国政策の「みどりの食料システム戦略」について関東農政局長野県拠点地方参事官 成沢氏を招き、今後の食

料や農林水産業が直面する課題や取組の現状について、また、農業におけるSDGsへの取組や「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて学びました。農業をとりまく状況は、高齢化や担い手不足、生産資材の高騰など厳しい状況にあります。国の政策を活用しながら環境に配慮した持続可能な農業を推進していきます。

また、老朽化している八方池山荘に改修に係る現場視察を実施しました。

## 村民との意見交換会お知らせ

コロナ禍により3年ぶりに開催！  
お気軽にご参加ください！

申込不要！

## テーマ

コロナ禍の観光と  
これからのまちづくり

## 日時

10月16日(日)午後2時から

## 場所

ふれあいセンター2階 学習室  
※コロナ感染症拡大により変更の可能性あり

議会広報特別委員会の  
委員長が変わりました。

田中麻乃議員辞職に伴い、7月1日の広報委員会でも、新たに委員長に尾川耕、副委員長に加藤ソフィーが選任されました。

## 前号(140号)のお詫びと訂正

5ページの最上段左から2段目にかけた「図書館の再検討範囲は」の2つある「答」が逆転していましたので、訂正しお詫び申し上げます。

## スマホアプリで白馬議会だより配信中！



マチイロ

マチを好きになるアプリ



お気軽に！ご意見をお寄せください！ ▶ [gikai@vill.hakuba.lg.jp](mailto:gikai@vill.hakuba.lg.jp)

85-0725(直通) 72-7001(ファックス)

# 夢、私たちに。

## わたしのひとこと



### 今あることに感謝

森上 山田 知永

早いもので何もわからず高校3年生の頃に白馬に来てから10年。

白馬で結婚し、義実家もでき、気づくと2児の母になりました。スノーボードがしたい、それだけだった白馬も子どもが生まれてから色んなもの見え方が変わりました。今は、自然豊かな土地で暮らせることをとても嬉しく思います。有難いことに畑を貸してもらい、菌ちゃんの力を借りて作物を育ててみたり、季節の手仕事をしして日本の上手な発酵文化の有難さを感じたりしています。

巷では感染症が話題になっていますが、副作用があるワクチン、マスク、消毒をするより日本の先人の知恵を借りることが、微生物だらけの地球で暮らし続ける近道ではないかと感じています。

これからも、この素晴らしい白馬、日本文化、そして地球を子どもたちに残していける選択をし続けたいです。



### 私の幸せ

和田野 笹川 雪子

白馬村に生まれ育ち松本へ移住して11年、昨年白馬に引っ越しました。

慣れ親しんだ白馬の生活は快適です。何より空気がキレイ。

朝起きて外でお腹一杯の空気を吸う、それだけで幸せ。

思わず体を動かしたくなる。体がよく動く。これも感謝、幸せ。

食欲も自然と旺盛になりお腹一杯食べられる、美味しく頂ける、幸せ～。

外の緑を眺めながらお茶を飲む幸せ。手作りのモノ干しを自画自賛しながら洗濯物を干す。

太陽の恵みでぐんぐん洗濯物が乾いていく、そんなことも幸せ。

友人が訪ねてくれておしゃべりができる幸せ。

夜になると布団の上で眠れる。

今日も無事に過ごせた幸せに感謝して眠りにつく。

白馬に帰ってきてこんな普通の日常に幸せを感じることは、白馬から一旦外に出たからこそ感じるのかも知れません。

とにかく全てが私の幸せです。



### ねこのいる日々

沢渡 ケリー 沙絵

2年前、家族に小さなねこが仲間入りしました。

猫を飼い始めた友だちが、猫アレルギーであったことに気づき、新たな飼い主を探していたことがきっかけです。

朝になると小さな肉球が私の額の上にポンポンと置かれ目を覚まし、冬の寒い日には子どもの布団の中にちゃっかりと入って、まるで人間のように寝ています。たまにふらつといなくなり、子どもたちが大捜索をします。ご近所のみなさんにもご迷惑をおかけしながらの日々です。

人間に比べて成長の早い猫はあつと言う間に子どもたちの年齢を超え、今では「小さなお姉ちゃん」と呼ばれています。

子どもたちは、いつからか殺処分に興味をもつようになり、実際に犬猫の保護施設や譲渡会に出かけたこともあります。「小さなお姉ちゃん」の存在が、子どもたちの社会的な視野を広げることに繋がったようです。

### あ と が き

議員になり1年が経ちました。この1年間で凄く体力が落ちたと感じます。今までは週に2日は健康維持のため1時間程度の運動を心がけていましたが、運動不足になり維持ができていませんでした。次の1年間の目標は以前のように運動を心がけ、議員活動を精力的にこなすためにも体力維持につとめたいと思っています。

コロナによって家の中に閉じこもっていた方も多いと思います。人間は健康でなければ他のどんなことも意味がなくなってしまう。大事な家族にも迷惑がかかります。今一度ご自分の健康を考えて元気な毎日を送っていただきたいと願っております。(切久保 達也)

#### 議会広報特別委員会

- |       |        |
|-------|--------|
| 委員 長  | 尾川 耕   |
| 副委員 長 | 加藤ソフィー |
| 委員    | 増井 春美  |
| 〃     | 横川 恒夫  |
| 〃     | 切久保達也  |
| 〃     | 丸山勇太郎  |
| 議長    | 太田 伸子  |

白馬議会だより 141号 令和4年7月31日発行  
 発行 長野県白馬村議会  
 編集 議会広報特別委員会  
 印刷 PO印刷(株)  
 〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村  
 ☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001  
<http://www.villhakudajp/assembly/assembly.html> E-mail gkai@villhakudajp